

コンピテンシー（資質・能力）の育成を目指した
授業実践と教員研修



教員研修の取組

授業映像配信システム 21CoDOMoSを活用した 教員研修の運営

上野 和広

東京都八王子市教育委員会 統括指導主事

八王子市について

人口 約56万人

大正6（1917）年 市制施行

周囲 約96 k m 面積 186.38 k m²

平成27年（2015年） 都内初の中核市に移行

	学校数	教員数	児童・生徒数
小学校	7 0 校	1 6 9 9 名	2 7 3 5 9 名
中学校	3 8 校	9 2 0 名	1 3 0 1 0 名
合計	1 0 8 校	2 6 1 9 名	4 0 3 6 9 名

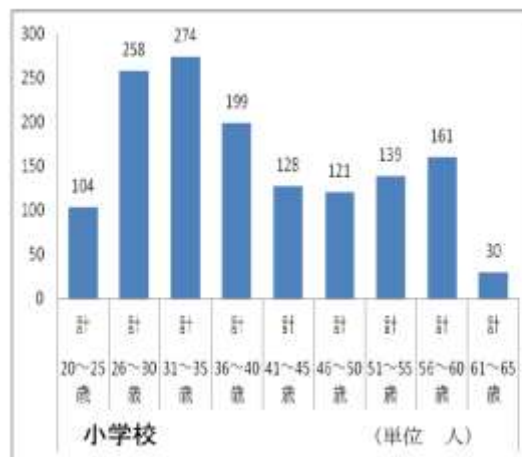
教員育成を取り巻く現状①

【八王子市に配属された新規採用教員数】（単位 人）

	小学校	中学校	合計
平成22年度	1 2 6	6 9	1 9 5
平成23年度	1 1 7	7 7	1 9 4
平成24年度	1 2 1	6 8	1 8 9
平成25年度	9 9	7 7	1 7 6
平成26年度	7 8	8 0	1 5 8
平成27年度	9 8	8 4	1 8 2
平成28年度	9 2	5 9	1 5 1
平成29年度	9 1	4 6	1 3 7
平成30年度	1 1 1	3 7	1 4 8
平成31年度	1 1 5	5 1	1 6 6

教員育成を取り巻く現状②

【八王子市の教員の年齢構成】

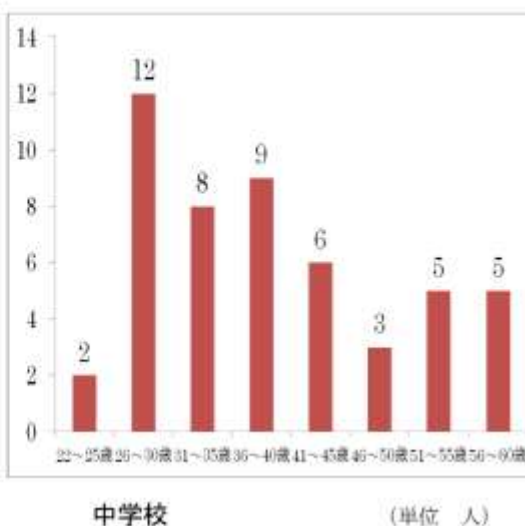
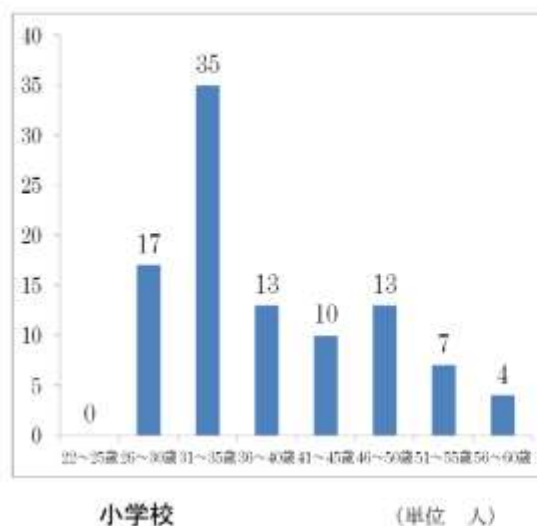


(平成 26 年度)



【八王子市外から市内に異動してきた教員の年齢構成】

(平成 26 年度)



教員の育成を取り巻く課題

課題 1

学校を取り巻く状況の変化

課題 2

教員の大量退職・大量採用時代による
若手教員の増加

課題 3

新学習指導要領の実施に向けた
教員の資質・能力の向上

八王子市教員育成研修基本方針

八王子市教員育成研修基本方針

平成27年2月
八王子市教育委員会

平成31年度(2019年度) 八王子市教育委員会指導課教員育成研修体系

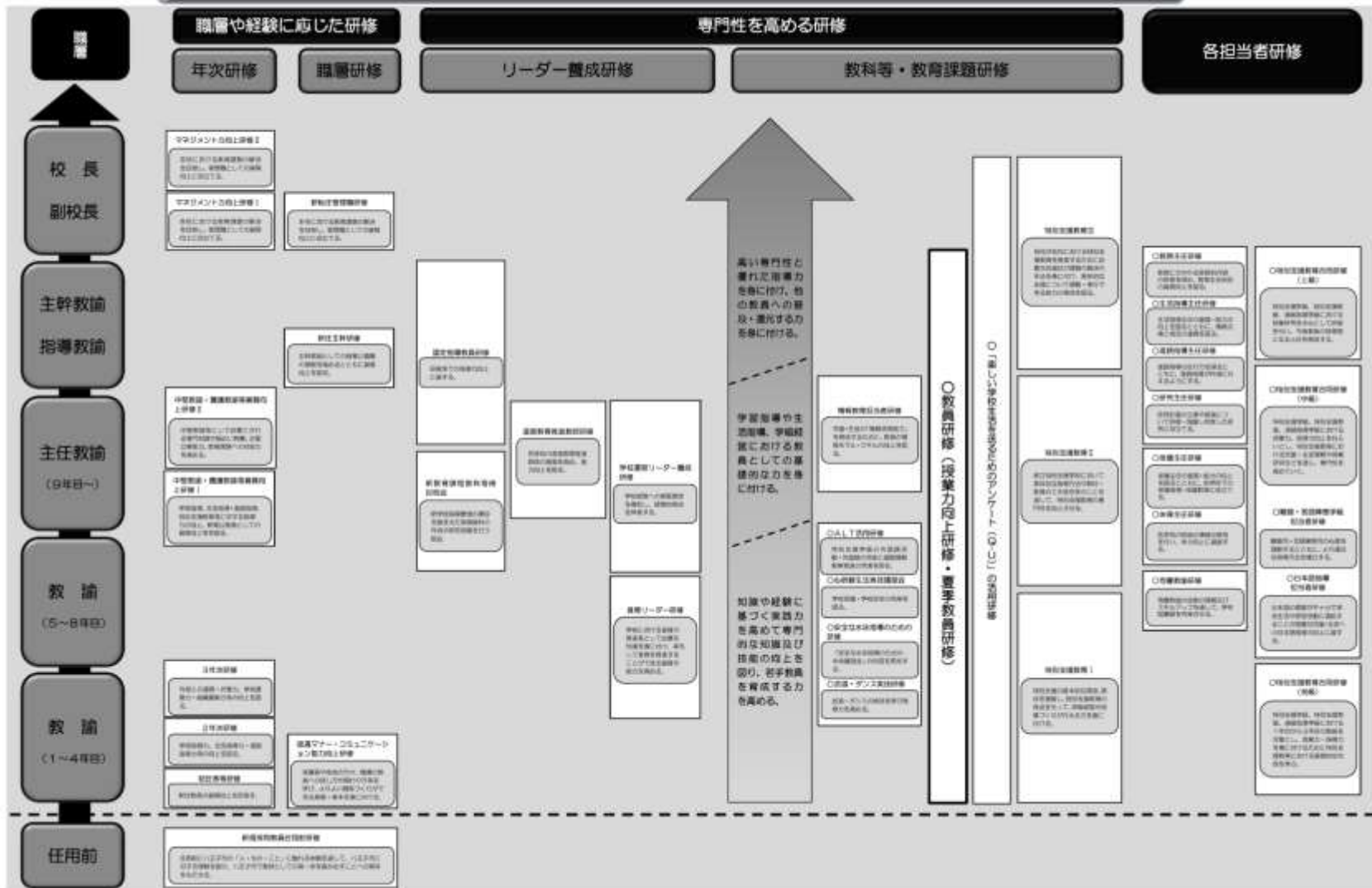
★は、スポット研修



八王子市教育委員会指導課教員研修体系

令和元年度(2019年度)

八王子市教育委員会指導課教員研修体系



平成30年度の取組

- ・ 教員研修
- ・ 新教育課程教科等検討部会の設置
- ・ はちおうじっ子指導資料の作成

令和元年度の取組

- ・ 教員研修
- ・ 新教育課程教科等検討部会部員による
研究授業
- ・ 21CoDOMoSを活用した授業動画の配信

教員研修

平成30年度	令和元年度
・指導力パワーアップ研修 ・産休・育休取得中教員を対象とした研修 ・産休・育休代替教員、時間講師等を対象とした研修 ・サテライト研修	・夏季教員研修 ・授業力向上研修 ・産休・育休取得中教員を対象とした研修 ・産休・育休代替教員、時間講師等を対象とした研修 ・サテライト研修

※平成30年度まで実施していた指導力パワーアップ研修を令和元年度から夏季教員研修と授業力向上研修に変更

指導力パワーアップ研修（平成30年度） 夏季教員研修、授業力向上研修（令和元年度）

平成30年度	令和元年度
指導力パワーアップ研修 ○教科等研修（22講座1225名） ・小・中学校の全教科等で実施 ・実施時期 6月～11月の学期中 ・新学習指導要領の趣旨を理解し、授業改善に生かせるように、教科調査官等の学習指導要領の作成に関わった講師を招聘 ○教育課題研修（54講座1424名） ・実施時期 夏季休業期間中 ・大学等専門機関と連携し、教育課題の解決に向けた多岐にわたる内容の講座を設定	○夏季教員研修 ・41講座 1421名受講 ○授業力向上研修 ・53講座 1359名受講 【小学校】26講座 ・各教科等で2回の研究授業 【中学校】27講座 ・数学科、英語科で3回ずつ、その他の教科等で2回の研究授業 ↓ 新教育課程教科等検討部会部員 による研究授業

産休・育休取得中教員を対象とした研修

産休・育休取得中教員の復帰に向けた研修会場（教育センター）内に託児場所を確保した研修を実施



平成29年度	平成30年度	令和元年度
実施講座：2講座 受講者数：8名 託児した 子どもの数：12名	実施講座：6講座 受講者数：19名 託児した 子どもの数：15名	実施講座：8講座 受講者数：3名 託児した 子どもの数：2名

【受講者の声】

- 育休中は学校の現場から離れて育児に専念できますが、復帰への不安がある。学習指導要領を含め、時代の変化が大きいので研修の機会が与えられて本当にありがたい。
- 家庭では、日中まとまって2時間読書をすることもできないので、託児していただきながら学ぶことができて本当にありがたかった。

産休・育休代替教員を対象とした研修

○研修内容



①授業づくりの演習	授業の基礎・基本の内容を学ぶ。 発問や教材・教具の活用、板書等
②子どもの関わり方	事例を基に、子どもの考えの受け止め方や声かけ等を学ぶ。
③学級経営についての協議	学級経営の取組等を情報交換し、 学級経営についての考えを深める。
④ストレスマネジメントの演習	職場でも簡単にできるストレス 解消法を学ぶ。

※令和元年度からの変更点

- ・受講者が研修受講する前後に指導主事による授業観察を実施
- ・インターシップ等で学校に来ている大学生も受講可能

【受講者の声】

- 学習指導案を作成し、板書を考えるという演習を受講者で行い、様々な考え方を知ることができ、とても勉強になった。
- 学級経営や子どもの関わり方で悩んでいたことを他の受講者と話し合い、講師の先生から助言をもらうことで、明日からの指導に生かしたいことが増えた。

サテライト研修



○目的

教員の働き方改革の一環として、出張時間の短縮を図るため、教育センターと各会場をインターネット回線で接続し、映像の同時通信で研修等を実施する。

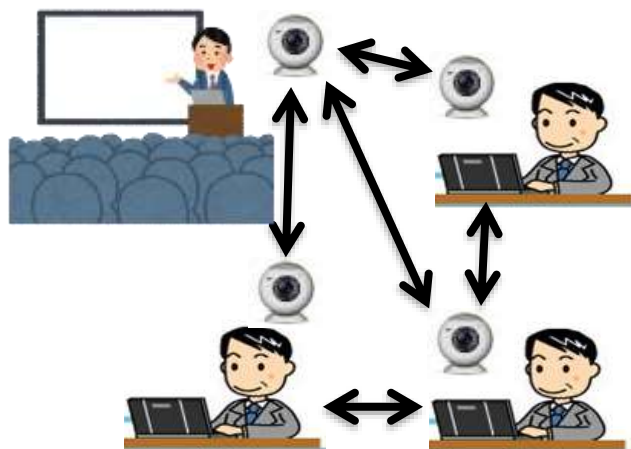
○実施研修

【平成30年度】

- ・ 学校マネジメント力向上研修Ⅰ(4会場)
- ・ 学校マネジメント力向上研修Ⅱ(4会場)
- ・ 教務主任研修

【令和元年度】

- ・ 楽しい学校生活を送るためのアンケート(Q-U)を活用するための教員研修(4会場)
- ・ 21CoDOMoSを活用した教員研修(3会場)



平成30年度の取組 新教育課程教科等検討部会の設置

○目的

八王子市立小・中学校の新教育課程の
全面実施に向けた方策について検討する。

【検討内容】

- ①各教科等の新学習指導要領の
内容に関すること。
- ②各教科等の指導法に関すること。
- ③各教科等の評価に関すること。
- ④新教育課程の全面実施に向け、
その他必要なこと。



- 各教科等の新学習指導要領
の解説資料を作成する。
- 市内小・中学校の授業の
改善・充実を図る。

【設置部会】

○小学校 13部会

国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育
外国語活動・外国語、道徳部会、総合的な学習の時間、特別活動

○中学校 14部会

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭（技術）
技術・家庭（家庭）、外国語、道徳、総合的な学習の時間、特別活動

平成30年度の取組 はちおうじっ子指導資料の作成

単元（題材）を通して、どのような資質・能力を育成するかを3つの柱で記載

はちおうじっ子指導資料

—学習指導要領における児童・生徒の学びの姿—

児童・生徒に目指す資質・能力を育むために主に「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」のいずれの視点で、授業を展開しているのかを記載

平成31年3月
八王子市教育委員会

- ①各教科等の目標
- ②各教科等の見方・考え方
- ③学習指導の展開例
- ④指導計画の作成と配慮事項
- ⑤内容の移行

3 学習指導の展開例（第4学年）

(1) 単元名 「雨水の行方と地面の様子」(10時間)

(2) 単元を通して育成する資質・能力

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
水は高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解することができる。 水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解することができる。 水の流れ方について、適切に実験を行い、記録することができる。	水たまりの様子について差異点や共通点を整理して考えていく中で、問題を見だし表現することができる。 雨水の流れ方やしみ込み方と地面の傾きや土の粒の大きさとの関係について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現することができる。	雨水の行方や水のしみ込み方について、興味・関心をもち、すすんで水の流れ方やしみ込み方を調べようとしている。 雨水の行方や水のしみ込み方について、学校や地域の土地の様子から考え、日常生活に適用させて調べようとしている。

②本時における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた児童の学びの姿

児童の学びの姿

主 新たな気づきを生み出す

○前時で見いだした問題を確認する。



校庭よりも畑の方が水たまりは少なかったです。



校庭の土と畑の土は粒の大きさが違いました。畑の土の方がサラサラしていて、粒が小さかったです。



土の粒の大きさも、水たまりのでき方に関係があるのかな。

【問題】土の粒の大きさによって、水たまりのでき方にはちがいのがあるのだろうか。

主・対 予想・仮説の発想、根拠実験の立案

○問題に対する予想や仮説を個人で発想し、考えを交流する。



水たまりのでき方にはちがいが無いと思います。雨がたくさん降ったら、畑にも水たまりはできていました。だから粒の大きさは関係ないと思います。



水たまりのでき方にはちがいがあると思います。土の粒が大きい方が、すき間が多いから水がたくさんたまって、土の粒が小さい方が、すき間が少ないから水があまりたまらないのではないかと考えました。



令和元年度の取組

※授業力向上研修

新教育課程教科等検討部会部員による研究授業

○目的

新学習指導要領の趣旨を踏まえた研究授業を通して、「はちおうじっ子指導資料」の効果的な活用並びに教員の授業力の向上を図る。

○実施授業数

・ 53講座 1359名受講

(小学校26講座、中学校27講座)

○受講の条件

- ・ 小学校 原則、自分の専門としている教科以外の教科を受講
- ・ 中学校 専門教科もしくは特別活動、特別の教科道徳、総合的な学習の時間を受講。



令和元年度の取組

21CoDOMoSを活用した授業動画の配信

○目的

新教育課程教科等検討部会部員による研究授業を撮影し、資質・能力を育てることをねらいとした質の高い授業を動画配信することで、教員一人一人の授業力向上を図る。

○配信動画数

53講座（小学校26講座、中学校27講座）



【授業動画の活用方法】

- ①教育委員会の研修で活用
- ②各学校の校内研究等で活用
- ③各教員が自席での授業研究等で活用

令和2年度に向けて

教員の授業力向上を目標とした教員研修の見直し

(1)新たな授業動画の撮影

プログラミング教育

人権教育

特別支援教育

(2)授業動画の活用した教員研修の実施

授業力向上研修を21CoDOMoSを活用した

e-ラーニングとして実施

(3)授業動画を活用した校内研修・自主研修の充実

積極的な活用を目指した活用事例の提供等